

都内に住む友人のお子さん（4年生）から「アサガオにチョウヤガの幼虫が10匹います。どうしたらいいですか?」という知らせがきました。「その幼虫の写真を送ってください。幼虫の種類によって対処方法がちがいます」と返事をしたら、送られてきたのが、この写真です。「これはきのうの蛾の幼虫。今朝はこれにいた緑色のどでかいのがたくさんいました。昨日はいなかったのにどうしてでかいのがよってきたのかな」ということでした。「これはスズメガ（雀蛾）の幼虫です。たぶん『エビガラスズメ』という蛾の幼虫ですね」と返事をしました。

エビガラスズメというのは、スズメガの一種です。特に幼虫は、「ハスモンヨトウ」と並んで、サツマイモ畑の害虫として「名高い」昆虫です。ハスモンヨトウの幼虫は、実に何でもよく食べるのですが、エビガラスズメの幼虫は、ヒルガオ科の植物の葉を好んで食べます。アサガオはヒルガオ科ですが、サツマイモも同じヒルガオ科の植物です。その証拠に、サツマイモの花はヒルガオそっくりです。以前、小学校のサツマイモも被害に遭いました。

エビガラスズメの幼虫は、4齢までは緑色ですが、終齢は茶色になります。その後土の浅い場所でさなぎになるのです。この幼虫がつくと、アサガオの葉はすべて食べ尽くされてしまうこともあるので、見つけたら早めに除去したほうが良いでしょう。たぶん、夏休みにアサガオの観察をしている、全国の小学校1年生が一番困っている虫だと思います。もしかしたら、この虫は、小学校1年生の住んでいる家を知っているのかも知れませんね。でも是非駆除する前に、葉を食べる様子や、脱皮する様子を観察しておくと思います。

(2023年8月下旬／東京都内)

